

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (中国)	良く なっている	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、来客数が回復傾向にあるため、売上は増加している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が本格化してきている。特に冷蔵庫、洗濯機、エアコンは買換えの購入が目立ち、好調である。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、特に白物家電の売上が良い。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・1～2月は、消費税増税前の駆け込み需要と新型車効果で、前年比160%の販売量であった。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、来客数が増えてきている。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、客単価が上昇している。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・消費税増税後に景気が落ち込むかもしれないが、ここ数か月は販売量が増加しており、3月まではこの傾向が続く。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・消費税増税を控えて、客の目は大型商品に向いており、日用品に関しては財布のひもが固い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・景気は良いものの、客は必要なものしか購入しない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・通常は2月は閑な月であるが、消費税増税前に購入しようという動きがあり、社名変更、新会社・支店開設や古い印鑑のやり換えなど、注文が増えている。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・商店街で話をすると、四国からの観光客が増加しているようである。また市街地と近隣の島をつなぐ橋の無料化の影響もあり、来客数が増加している。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・客の買物点数が増加し、1人当たり単価も上昇している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・家具の他、化粧品など消耗品についても、消費税増税前の駆け込み需要が始まっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・2月前半は初旬の土曜日の大雪により、売上や来客数が大きく前年を下回ったが、中旬以降は回復した。月間では、来客数は前年比96%と前年をやや下回るが、売上高は前年をクリアできる見込みである。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・気温に影響され、春物商品は順調に動いている。客は消費税増税前に高額商品を買う傾向にあり、宝飾品、家具や美術品のほか、高額な洋服も動き始めている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価が上昇している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・1月までは客単価が前年の101～102%で推移していたが、2月は102%となっている。また来客数は前年の100%となって、少しずつ上昇傾向になっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・消費税増税前のまとめ買いが増えてきており、買上点数が増加している。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・野菜等、相場高の商品も買上点数は下がらず、売上増となっている。また消費税増税を意識して、缶ビールやカップ麺など、ケース単位の販売商品も動いている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・消費税増税を前に、高単価商品や消耗品の販売量が増加してきている。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・1～2月と前年を上回る来客数が継続しており、上向き傾向である。		
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・中食や高単価商材の動向がやや良くなってきている。		
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・前月と同様に、客単価は低下しているが来客数がやや増加傾向にある。		
衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数が前年より増加している。		
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・新生活需要、消費税増税前の駆け込み需要や決算期が重なったため、売上が増加している。		
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税の影響と考えられるが、2月までは前年を上回る販売量を確保している。		
自動車備品販売店（経営者）	それ以外	・当店はまだ実感はないが、他業種の店やまわりから景気の良い話を聞くので、景気は少しは良くなってきている。		

	その他専門店 [ファッション 雑貨] (従業員)	販売量の動き	・消費税増税前ということから、比較的高額な商品や定番商品の前倒し購入がみられる。
	その他小売 [ショッピング センター] (所長)	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、日用雑貨類や家電製品などの店舗については、来客数が増加し好調に推移している。また衣料品でも、ベビー服や子供服などはまとめ買いが目立つ。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・予約の問い合わせ等が多くなってきている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月の売上は前年よりも良い。
	その他サービス [介護サービス] (介護サービス担当)	お客様の様子	・消費税増税を前に駆け込みで比較的高額な買物をしている人が、ちらほらみられる。
変わらない	商店街 (代表者)	来客数の動き	・引き続き、前年に比べて来客数が減少している。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・客同士の会話を聞いても、楽しそうな話題がなく、また客の来店頻度も高くない。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要は、冷蔵庫や洗濯機等の耐久消費財に向かい、電気店は潤っているが、その他の商店は前年同期の売上を確保するのが精一杯である。しかしこのような状況下でも、一部の高額商品の販売は好調である。
	一般小売店 [茶] (経営者)	販売量の動き	・最近、景気が良いとの報道をよく聞くと、景気の良い業種と悪い業種の格差が非常に大きい。残念ながら、当社は悪い方に入り、引き続き前年実績を大きく下回っている。
	一般小売店 [酒 店] (経営者)	販売量の動き	・相変わらず料飲店の売上が増加しない。多少良くなる兆しはあるが、継続するのか一時的なものか、判断しかねている。
	百貨店 (営業担 当)	販売量の動き	・売上について、前年実績を超えている商品が約35%と、先月の約50%を下回っている。春物の時期になったが、相変わらずアパレルの売上が良くない。寒さが続くためか、アパレルに対する消費動向の変化なのか、よくわからない。飲食についても、少しであるが前年を下回っている。
	百貨店 (営業担 当)	単価の動き	・消費税増税前の駆け込み需要はあまりみられず、客は欲しいものだけを買う姿勢を続けている。
	百貨店 (販売促 進担当)	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要を期待するが、宝飾品、呉服、絨毯といった高額商品の動きは低迷している。また衣料部門は春物の先行販売を強化するが、冬物セールの方が好調に推移している。3月には駆け込み需要が強まると期待するが、客の購買決定には価格訴求が不可欠と思われる。
	百貨店 (売場担 当)	販売量の動き	・2月は寒波により手袋やストールなど、防寒雑貨が好調であった。ラグジュアリーブランド、舶来時計やアクセサリは大きく売上を伸ばしているが、食料品などデイリー商品はやや苦戦している。
	百貨店 (売場担 当)	お客様の様子	・バレンタインデー関連の販売状況を見ると、高額なチョコレートも売れており、節約ムードから少しずつゆとりのある支出に変わってきている。
	スーパー (店 長)	来客数の動き	・引き続き、来客数は前年を下回り、買上点数も減少している。
	スーパー (店 長)	競争相手の様子	・価格競争が厳しくなり、単価が落ちている。
	スーパー (総務 担当)	単価の動き	・来客数は横ばいであるが、単価がやや下がり気味である。
	スーパー (財務 担当)	来客数の動き	・3か月前と同様、相場高及び値上げによる単価上昇により、売上は前年を上回っているが、来客数の前年割れが続いている。
	家電量販店 (店 長)	お客様の様子	・消費税増税後を想定し、客の財布のひもは固くなっている。
その他専門店 [和菓子] (経 営者)	来客数の動き	・大きな変化はない。	
その他専門店 [時計] (経 営者)	販売量の動き	・当店は時計、宝飾品や眼鏡を扱っている。客の購入希望価格に高低の格差ができ、全体としては購入価格は低めにシフトしているが、当店に対応できてない感がある。	

その他専門店 〔布地〕(経営者)	お客様の様子	・今月前半は寒い日が多く、来客数が減少した。後半は多少人出が増加したものの、購入する客は少なかった。	
その他小売 〔ショッピングセンター〕(運営担当)	単価の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要を予測していたが、現時点では実感が無い。高単価商材が目立って売れていることもなく、前年並みで推移している。	
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・1月の週末は家族連れが多かったが、2月の週末は個人客の動きが鈍く、平日は来客数が減少した。	
一般レストラン (外食事業担当)	来客数の動き	・夜9時以降の客が若干増加しているが、月間の来客数は3か月前とほとんど変わっていない。ただし客単価は少し伸びている。	
観光型ホテル (宿泊予約担当)	来客数の動き	・前年より宿泊数が減少傾向にあるが、個人客は微増である。	
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・高単価なレストランでは来客数が減少し、ネット宿泊予約では低価格競争が激化している。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・アベノミクスで首都圏は好景気かもしれないが、地方では全く実感できない。	
旅行代理店(営業担当)	競争相手の様子	・新年度には他社の新規出店もあり、消費税増税に絡んだ動きが活発である。	
タクシー運転手	来客数の動き	・当社の売上をみると特殊な仕事が入っているため横ばいであるが、夜の繁華街からの帰宅利用等、一般の仕事は落ち込んだままである。	
タクシー運転手	来客数の動き	・前月と何ら変わりがない。	
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・消費税増税を含めて、これからの生活について先行きの不安を聞くことが時々あるものの、多くない。	
通信会社(広報担当)	販売量の動き	・新生活商戦期ではあるが、特に目立った動きはない。	
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・来館者数、販売額及び売上高について、前年から変動がない。	
美容室(経営者)	来客数の動き	・売上や来客数がともに減少しており、現状維持が精いっぱいである。	
美容室(経営者)	お客様の様子	・客からは仕事量は増えているが人材も時間も足りず、また給与が上がるわけでもないという。景気の変化は感じない。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要が一段落し、来客数が落ち着いてきた。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・地方にアベノミクス効果が波及しているか疑問である。公共工事も職人不足や予算不足などの影響を受け、経済に及ぼす効果はさほどない。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・現在、順調に受注し設計を行っているが、建築費の高騰と人手不足により建設会社への発注が思うように進んでいかない。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・契約受注は落ち着いてきたが、消費税増税前の駆け込み案件の工事完成が集中している。	
住宅販売会社 (販売担当)	お客様の様子	・客に住宅取得の意欲はうかがえるが、時期を急がない客が多くなっている。	
やや悪くなっている	商店街(理事)	来客数の動き	・客の来店頻度が少ない。
	商店街(代表者)	単価の動き	・客は生活防衛のため消費を控える傾向で、バーゲンでも購入しない。
	一般小売店 〔靴〕(経営者)	販売量の動き	・入学や就職等により臨時的支出増加が必要になると、客は日常用品を買い控える。消費税増税前の駆け込み需要は日常用品を取り扱う店ではみられない。
	百貨店(電算担当)	販売量の動き	・貴金属の売上は好調であるが、全体の売上をみると、期待したほどには消費税増税前の駆け込み需要が盛り上がらない。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要はなく、客はシビアである。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が減少している。魚、たばこや酒等のし好品の売上も減少傾向である。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・消費税増税が目前となり、消費者の財布のひもは固くなっている。消費税増税前の駆け込み需要で売上が伸びている店はごく少数である。主婦の目線からみて、便乗値上げと思われるところもあり、しばらくは消費者の購買意欲は低下する。
	乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要はピークを過ぎた。来客数が2～3か月前より3割減少している。特に週末と土日の落ち込みが激しい。

		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・天候不順の影響もあると思うが、特にディナーの来客数が減少している。一方、持ち帰り客が増加しており、外食から内食へ移る傾向が更に強まっている。
		一般レストラン (店長)	単価の動き	・全体的に客単価が低下している。
		その他飲食 [サービスエリア内レストラン] (支配人)	来客数の動き	・特に週末の動きが悪くなっている。バスの立ち寄りが少なく、売上が増加しない。
		観光型ホテル (支配人)	販売量の動き	・ホテル業界は、耐久消耗品等の消費税増税前の駆け込み需要の高まりの悪影響を受けている。宿泊、料飲、宴会部門すべてで、売上が前年を下回っている。
		都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊客数は個人・団体とも順調に推移しているが、レストランの客数が減少している。特に高単価のレストランの客数が減少している。
		設計事務所 (経営者)	販売量の動き	・消費税増税前の発注が一段落した感があり、リフォーム等の受注も減っている。
	悪くなっている	その他専門店 [海産物] (経営者)	来客数の動き	・今月は雪で高速道路の通行止めがあったこともあり、観光客が少なかった。
		ゴルフ場 (営業担当)	お客様の様子	・受け入れ予約が減る傾向にある。安価なクラブに移行する動きがある。
		競艇場 (職員)	販売量の動き	・11月はG1競争開催で売上が確保できたが、今月は同様のレースの実施がなかった。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の受注量は多く、景気は良い。
(中国)	やや良くなっている	農林水産業 (従業者)	それ以外	・1月と10月を比較すると、水揚げ数量は1950t、水揚げ金額は4300万円の増加であった。1月単月の前年比では、水揚げ数量は124tの増加で前年の105%、水揚げ金額は6450万円の増加で前年の113%であった。
		化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・前年に比べて、販売量や金額がともにわずかながら増加基調にある。
		化学工業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・販売量は増加しているが、原燃料や電力料金上昇分の販売価格への転嫁がなかなか進まないため、利益につながらない。
		窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・鉄鋼向け工事案件の注文や自治体向け焼却炉の注文が入り、当社の生産量を底上げした。また2次加工品も各所のスポット案件受注で多忙である。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・見積りや引き合いは比較的活発にあり、成約率は芳しくないものの、前年実績は上回っている。
		輸送用機械器具製造業 (経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注内示は高い水準を保っている。
		輸送用機械器具製造業 (財務担当)	取引先の様子	・国内では、すでに2017年度までの仕事量を確保し、その先の交渉に入っている造船所もある。足元には米国の大手金融機関の破たん以降に受注した低船価の船の建造もあるが、受注量の底上げを背景に活気を感じる。
		建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量はあるが、労働者不足などで利益につながらない。
		建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・新規工事の引き合いが増えてきた。
		輸送業 (業務担当)	受注量や販売量の動き	・客の業績が上向きになってきたためか、販売数量が増加してきている。
		輸送業 (支店長)	受注量や販売量の動き	・電子商取引関係の取扱量が順調である。関東方面の大雪の影響から回復してきて、積雪前と同量か、それ以上の荷物量となっている。
		通信業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度末及び消費税増税前の駆け込み需要の影響とみられるが、例年より販売量と件数が確実に増加している。
		金融業 (自動車担当)	取引先の様子	・大手自動車会社系の自動車部品メーカーでは、米国・オセアニア向け輸出の好調から増収増益が続く。業績は過去最高を更新する企業も多い。
		金融業 (貸付担当)	取引先の様子	・年末年始の受注や販売状況が前年比で良くなっている。年度末にかけて更なる増加も見込まれ、景気は良くなっている。
		不動産業 (総務担当)	それ以外	・来客数や成約件数が増加している。

	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で受注量が増加傾向にあり、売上増の動きが続いている。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要からか、製造業や建設業は活況を呈している。特に公共工事関連の業界は、ここ数年なかった忙しさがある。ただ小売業やサービス業は今のところあまり変化はみられない。	
変わらない	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・問屋経由の販売分については高炉メーカーの納期が戻りつつあり一服感があるものの、需給がタイトな状況に変化はない。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・輸送用機器関連は堅調に推移している。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はここ3か月横ばいで推移しており、大きな変化はない。	
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・製造業の客と話す、来年度に商品供給に向けた設備投資を計画する話を聞くことがある。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	競争相手の様子	・同業者の倒産が相次いでいる。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円安による為替差損が大幅に増加し、自社の努力だけでは対応しきれない状況となっており、注文先と値上げ交渉を行っているが、なかなか難しい。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・現場を担当する技術職員が不足し、職人の確保が困難な上、賃金も上昇しており、また建設資材も高騰している。納期の遅延という苦しい状態もあり、利益率低下が続くという不安感がある。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	-	-	-	
(中国)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・建設業界中心に、非常に多くの求人を受注できている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有効求人倍率は上昇し、求人数が増加している。
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・介護、土木建築関係において、求人広告掲載の相談が顕著に増加し、全般的にも相談が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率が上昇し、特に建設業では12月まで10か月連続でプラスとなっている。業界や地域で格差がみられるものの、景気回復の実感がある。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・正社員の有効求人倍率が、8か月連続で前月より上昇している。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・新規求人数が3か月前より6%増加しており、そのうちフルタイム求人が16%と大幅に増加した。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・有効求人数は前年と比較して増加を続け、また有効求職者数は減少を続けている。その結果、有効求人倍率は上昇している。いわゆる正社員求人倍率についても、1倍を超える水準まで回復した。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・求職者数が減少傾向にあり、即戦力人材が不足している。人気の地場上場会社でさえ知名度の高い求人広告を使っても応募者が数名しか集まらず、またほとんど実務経験がない人材であったようで、人材獲得が困難となってきた。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	周辺企業の様子	・人材教育に力を入れる企業や、業務多様化や事業拡大等を計画する会社が増えて、良い意味での活性化が進んでいる。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・求人は、スマートフォン・タブレット関連部品が好調なハードウェア製造業や、カニ加工を中心とした水産加工業が好調で、製造業で大幅増となり、全体のけん引役となっている。求人全体では前年同月比で2割増となり、有効求人倍率も4か月連続で0.9倍台をキープした。
	変わらない	人材派遣会社（支社長）	雇用形態の様子	・幅広い業種で正社員性のある求人の割合が高まっている。
求人情報誌製作会社（広告担当）		求人数の動き	・求人数が増えてきている印象を受ける。建築系などの求人に関しては非常に需要があるが、その他の業種に関しては、そこまで活発になっていない。	

	学校 [短期大学] (学生支援担当)	求人数の動き	・大きな変化はないが、若干悪くなっている。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-